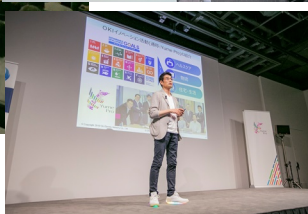


2018年7月31日（火）イスラエル デジタルヘルスケア イノベーション最前線セミナーを開催しました。



イノベーション最前線セミナー風景



Yume Proの具体的な取り組みについてプレゼンテーションをする大武

パートナーの皆さんと一緒に、いろいろな社会課題を解決して、新たなイノベーションを興していこうというプロジェクトであると語る横田



パネルディスカッション、Q&Aの様子

イノベーション活動「Yume Pro」(ユメプロ) では、特に医療(ヘルスケア)、物流、生活住宅という3つのテーマで多様な分野の有識者、企業、官庁とコラボレートしながら新しいソリューション・サービスのトライアルを行っています。

OKIは、こうした活動にご賛同いただける方、ご協力いただける方を求めています。センサー技術、ネットワーク技術、データ収集・解析など、当社の強みとするところを活かしながら、デジタルヘルスケアに強みを持つ国内、そしてイスラエルをはじめとする海外の有識者の皆さまと共創することで強いスキームを確立し、より大きなイノベーションを興すことができますと期待しています。

2018年7月 SHIPオープンフォーラムに横田 Chief Innovation Officer (CINO) 登壇！

<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/presscenter/articles/2018/shipforum/>
https://www.oki.com/jp/yume_pro/events/archives/20180726/index.html

2018年7月4日（水）に国連開発計画（UNDP）と一般社団法人 Japan Innovation Network (JIN) の共催でSDGs Holistic Innovation Platform (SHIP) オープンフォーラム「持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた国連の最新動向～ビジネスを通じたSDGs達成に向けて～」が開催されました。本フォーラムに沖電気工業株式会社（OKI）執行役員兼 Chief Innovation Officer (CINO) 横田俊之氏が登壇いたしました。

フォーラムでは、横田CINOがOKIで行っているSDGs達成に向けたイノベーション戦略とイノベーション創発の仕組みについて具体的な活動や経緯を紹介しました。その後、横田CINO、国連SDGアクションキャンペーン グローバルディレクターのミッチェル・トゥーミー氏とJIN専務理事の西口尚宏氏によるパネルディスカッションが行われました。



国連本部SDGsアクションキャンペーン・グローバルディレクターのミッチェル・トゥーミー氏（中央）と共にイノベーションの重要性を発信する横田執行役員（左）

Yume Pro News



Vol.1 2018.November

https://www.oki.com/jp/yume_pro/

2018年10月 CEATEC 2018レポート ～OKIイノベーション推進活動 Yume Proを紹介

https://www.oki.com/jp/yume_pro/events/archives/20181026/index.html

幕張メッセ（千葉県千葉市）で4日間にわたり開催された「CEATEC JAPAN 2018」のOKIブースにおいて、イノベーション推進活動 Yume Pro (ユメプロ) を紹介しました。



10月16日のトークセッションに登壇する大武（左）、藤原（右）



10月17日のトークセッションに登壇する横田（左）、藤原（右）

トークセッションでは、共創パートナーサイトを運営しているeiicon（エイコン）の田中みどりさん、中村亜由子さんが司会を担当。イノベーション担当になった理由や日頃のイノベーション活動での苦労などの質問にスケッチブックに記入する形式で回答しました。会場はフランクな雰囲気の中、笑顔に満ちていました。



10月16日ヘルスケア×Yume Coinの説明をする福永（左）とZBB堀口社長（右）



10月18日物流業界のイノベーションについて語る川口

テーマセッションは、「ヘルスケア」関連で10月16日に Zerobillbank JAPAN（以下、ZBB）の堀口社長とイノベーション推進部の福永が登壇し、Yume Coinの仕組みを紹介しました。10月17日はno new fork studio（以下、nnf）の菊川社長と福永がIoT靴を用いた認知症予防の取り組みを紹介しました。福永が光る靴で登場すると会場はワッと盛り上がりました。

2018年10月 「睡眠×インセンティブポイント」をテーマにFitbitと連携した新戦略を発表

https://www.oki.com/jp/yume_pro/events/archives/20181018/index.html

イノベーション推進活動「Yume Pro」(ユメプロ) を推進しているイノベーション推進部の大武 元康は、2018年10月2日（火）にフィットネス製品「Fitbit」が主催するイベントに登壇。「睡眠×Yume Coin」というテーマで新たなコラボレーションについて語りました。



講演において、大武はOKIのイノベーション推進活動「Yume Pro」のテーマの一つである「医療・介護」において、SDGsのゴールの一つである非感染症の予防のために「家族・地域を繋ぐ」健康促進に注力していることを説明。その活動の一つとして、健康促進に重要な「睡眠」「運動」「食事」「メンタル」「エイジング」に注目。特に、「睡眠」に注目し、フィットネス製品「Fitbit」と連携し、健康行動を促進するためにブロックチェーンを用いたインセンティブポイント「Yume Coin」を使った共創の取り組みを紹介しました。

<https://eiicon.net/articles/565>

イノベーション加速のため、ベネフィット・ワン様、ZEROBILLBANK JAPAN様と連携し、「サービス利用者へのインセンティブの仕組み」を開発し実験開始。



白石徳生社長 鎌上社長 堀口純一社長

写真提供：eiicon



- 「Yume Coin」をリアルな価値（ギフトカード等）に交換する仕組みをご提供
- インセンティブ・ポイント事業

- IoTデバイスやサービス利用者をセキュアに「つなぐ仕組み」を提供
- イノベーション活動、健康活動を見える化する仕組みを提供

- ブロックチェーンを活用したデータ交換のプラットフォームをご提供
- 「Yume Coin」を交換するプラットフォームをご提供

2017年12月 SDGs イノベーションOKI役員ワークショップを実施

<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/presscenter/articles/2018/4/okidenki.html>

OKI役員向けにイノベーションのワークショップを開催しました。



ほぼ全役員が参加し、SDGsに掲げられている社会課題から事業機会を発掘するWSを実施しました。UNDP駐日事務所の近藤代表からも先進的な取り組みと評価を頂き、HP等で紹介されています。

国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所の近藤代表（前列左から3番目）をお招きし、SDGsのゴールのつながりとビジネス機会を学ぶWSを開催したOKI経営陣



OKIイノベーション創出活動 Yume Proのご紹介

複雑かつ中長期に亘る社会課題の解決（SDGs）を目指し、情報通信技術を活用してパートナーの皆さんと共に世界の人々が安全と便利を両立した生活しやすい環境を創るためのOKIのイノベーション創出活動、それがYume Proです。



OKI 代表取締役社長

鎌上 信也

OKIは、1881年（明治41年）に創業以来、「進取の精神」を脈々と受け継ぎ、創業事業である日本初の電話機の開発に端を発し、電話交換システムや金融機関で使用されているATM、道路交通システムなどを通して社会インフラの整備に貢献してまいりました。2017年に発表した中期経営計画では、ビジョンとして「モノづくり・コトづくりを通して、より安全で便利な社会のインフラを支える企業グループ」の実現を掲げ、様々なイノベーション創出にチャレンジしています。その成果の一つとして、2018年1月にはトムソン・ロイター社より「TOP100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」に選ばれました。しかしながら、世の中の技術進歩は早く、かつ社会課題もグローバル化しています。OKIは国連が2015年に定めたSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けて、企業として事業を通して貢献していくための取り組みを全社で始めています。しかし、社会課題の解決は、OKIのみで達成できるものではありません。そこで、OKIは2018年度より社外のパートナーと共同で新規事業を創出する共創イノベーション活動をこれまでより一層強化、加速してまいります。これからのOKIのイノベーション創出の活動にご期待ください。

2018年4月1日

Yume Proとは

社会やお客様の課題を解決し、夢を拓く新たなイノベーション創出活動、それが「Yume Pro」です。OKIのコーポレートスローガン「Open up your dreams」にちなんで命名いたしました。「PRO」には、プログラム、プロジェクトそしてプロフェッショナルを目指すという3つの意味が込められています。Yume Proには、大きく3つの特色があります。まず、SDGs*に掲げられている社会課題にフォーカスします。OKIの「モノづくり・コトづくり」を通して、より安全で便利な社会のインフラを支える企業グループ」という提供価値とSDGsの掛け算で事業機会を開拓します。お客様自身も気づいていないような課題を探索し、解決策と一緒に考えていけるよう、チャレンジして参ります。第2に、Yume Proを共に進めていくことに同意頂いたお客様に対して、課題解決の役に立つカスタマイズしたワークショップをOKIが自ら企画して開催するといった取り組みを展開します。「困ったときにはOKIに相談してみよう！」と思って頂けるパートナーになることを目指します。第3に、事業化を円滑化するための仕組みを整備いたしました。事業部や営業と緊密に連携する社内体制、PoCを実施するための十分な予算を確保しリスタートアップを可能にします。お客様とソリューション・コンセプトに関する合意後、事業部に速やかに引継ぎ、事業化を進めます。OKIは、Yume Proによって、SDGsに掲げられている課題をイノベーションによって解決して参ります。* SDGs (Sustainable Developments Goals)：国連が定めた持続可能な社会を作るための開発目標。

Yume Proがフォーカスする領域



医療

予防医療、健康寿命の延伸、介護支援等、「高齢者にやさしい」社会の実現。

テーマ



物流

安全、利便性向上、効率化等、物流環境の進化による「利用者にやさしい」社会の実現。

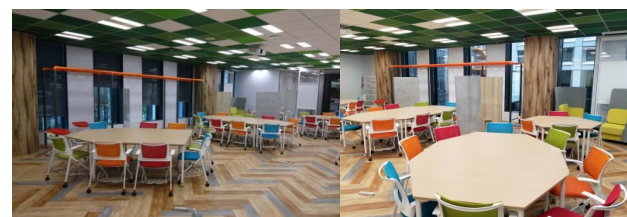


住宅・生活

住生活における安全性や利便性の向上。多様化するニーズに対応した「生活者にやさしい」社会の実現。

Yume ST（夢スタ）を新設

OKIのイノベーション活性化の拠点として、OKIショールームに隣接する場所にイノベーションルーム「Yume ST（夢スタ）」を新設。



OKIイノベーションルーム Yume ST (OKI虎ノ門本社2階)

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
虎ノ門ファーストガーデン2階

